

子供の歯並びを気にしているお母さんへ

「治療しない治療」で早めの矯正

歯が痛くなったら、歯科で削って、詰め物をしてもらい、場合によっては抜かれる…。当たり前のことのようにだが、「うちは極力、何もしません」という常識を覆すような治療姿勢の歯医者さんがいる。しかも「かみ合わせを直すことで健康な体を取り戻せる」と力説。どんな歯科医なのか、さっそくリサーチ・チェック。

アートデンタル 中田南クリニック

歯の疾患を治療し「不満で、何をしてほしい」と話すアートデンタル中田南クリニックの林叔友院長。

「歯の治療に来た人のほとんどが転院。以前かかってきた歯科で、なんらかの不満があったから、替えたのです。何が

削らない、抜かない治療を心がけているという林叔友院長

「矯正は乳歯のうちからできるんです。むしろ早いほうが、時間も治療費もかかりません。ですから、子供の歯並びを気にしているお母さんは、なるべく早めにお子さんを歯医者に連れて行ってあげてください」

寄りでも歯が残っている人は多く、寝たきりの人は少ない。日本人は80歳で平均7本しか歯が残っていない。いくら世界一長寿の国になっても、健康でなければ、質の面でいい生活をしているとは言えません」

林さんが特に力を入れているのが、噛み合わせの矯正。左右のバランスが違っただけで、頭痛、腰痛、アトピーなどの原因になるという。逆に噛み合わせを矯正することで、これらが改善されるという。

「矯正は乳歯のうちからできるんです。むしろ早いほうが、時間も治療費もかかりません。ですから、子供の歯並びを気にしているお母さんは、なるべく早めにお子さんを歯医者に連れて行ってあげてください」



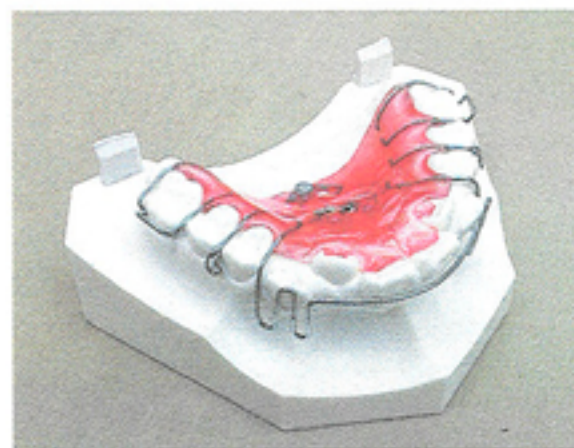
壁には診療室で撮った子供たちの、頑張った。笑顔の写真がたくさん張られている

歳までに虫歯にならなかつた子供は一生、虫歯にならないと言われていきます。妊娠したときから、ご両親が口内の虫歯菌を減らす治療を受ければ、子供は虫歯がないうま成長することが出来ます」

林さんは小学校で、給食後、5分間でも「歯磨きの時間」をとってくれば、ひいては国全体の医療費が抑えられると提唱している。

まずの
元気印

- ①削らない、抜かない治療を心がけているという林叔友院長
- ②林院長が取り入れている微調整可能な矯正器具



乳歯は、いずれ抜けるのだからとほっておく歯医者も少なくないという。しかし、乳歯は永久歯がきちんと生えそろうための「誘導」の役目をしている。そのためにも早めの矯正が必要だと林さんは注意する。

「歯がない人とある人では、病気になる割合が6倍も違うという調査結果があります。また、3

■アートデンタル中田南クリニック 横浜市泉区中田南3の7の2、☎045・806・3718 診療時間＝前8時半～後6時半（後1時半～3時休憩）。土は通しで後3時まで。日は前9～後3時。火・祝日休診。